

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第2期木崎湖環境整備事業－湖中（湖底）・湖岸の清掃を行う事業－
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 長野県水辺環境保全研究会
事業区分	(5) 環境保全・景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,205,780 円 (うち支援金: 899,000 円)

事業内容

○平成25年8月17日・18日の2日間にわたり、会員及び一般ボランティア、地域住民、仁科三湖を美しくする会との協働により、大町市木崎湖の湖中（湖底）及び湖岸の清掃活動を実施。【延べ参加者74名】
 ○木崎湖東岸の学者村と海の口駅前一带から農具川流出口までの範囲内における、水深約0～15m間において、湖中（湖底）に捨てられているバス釣りの仕掛け、家庭ごみなどを会員及び一般ボランティアによるスキューバダイバーにより潜水して回収除去を行った。
 ○会独自で水中撮影によるDVDを作成し環境保全、自然保護の啓蒙に役立てた。



※自己評価（事業実施率）【A】

事業効果

○湖中（湖底）清掃：延べ参加者34名
 【回収ごみ 可燃ごみ約100kg・不燃ごみ約100kg】
 湖中は想像はしていたがごみの多さに驚いた。大量のごみを回収することができた。大量の空き缶、ペットボトル、釣り糸の他、タイヤ、バッテリー、食器類、公衆電話、便器、鍋、ビーチパラソル、傘、ゴルフボールなどの家庭ごみやドラム缶、塩ビ管、工所用足場などの不法投棄の多さに驚いた。参加ダイバーからは「ごみを捨てるのはやめて欲しい」と感想があった。また、漁業協同組合に依頼され、沈舟（和舟）を探した。水深15mで発見。全ダイバーで引き上げた。参加ダイバーの確保に苦慮する中、当会のホームページを見た方が奈良県から潜水清掃に参加していただいた。
 ○湖岸清掃：延べ参加者20名【回収ごみ約10kg】。花火大会の後ということもあり、吸殻等多くのごみが回収された。
 ○大町市生活環境課の協力により、市環境保全推進員の皆さんに研修の一環として湖底回収ごみの分別作業に参加していただいた。木崎湖を取り巻く投棄ごみの量や種類などの現状を知っていただくことで、今後の啓蒙活動に役立てていただくことができた。【環境保全推進員参加者 20名】
 ○市ケーブルテレビによる撮影、また当会独自で撮影した水中の様子を放映してもらい、市民に向けて環境に対しごみ不法投棄がいかに問題か啓発していただいた。【5日間 計25回】

【目標・ねらい】

- 湖底における水中環境の向上
- 湖岸における環境と景観の向上
- 湖中生息生物の育成環境の向上
- 地元住民の環境への意識の向上

※自己評価（事業効果）【A】

今後の取り組み

○木崎湖は今や家庭・工場ごみのごみ捨て場となっている。清掃活動と並行し、不法投棄をする心無い人を減らすため、さらなる監視の目の強化等による不法投棄防止策と、啓蒙活動による環境保全に対する意識改革が重要課題である。今後中綱湖、青木湖も実施し、見た目だけではない美しい仁科三湖を取り戻す活動を行うとともに、より多くの人に現状を伝えることで一人一人の環境意識の向上をはかりたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70～89%「C」50～69%「D」49%以下で示すこと。